

番号	18	令和7年度公共事業再評価調書				担当課名	砂防課																																		
事業名	火山砂防事業				事業主体	静岡県																																			
箇所名	はんぎょん さわえー 半経寺沢A				関係市町	伊豆市																																			
事業採択年度	令和 3 年度		計画期間	令和3年度 ～ 令和11年度																																					
用地着手年度	令和 7 年度		工事着手年度	令和 8 年度																																					
再評価理由※	事業採択(R3)後5年が経過した時点で継続中の事業																																								
全体事業費	百万円 197	投資状況 (百万円)	～R5年度 30	R6年度 3	R7年度見込 3	計 36																																			
事業概要	(1)事業目的 半経寺沢A(伊豆市修善寺地区)は静岡県の伊豆半島に位置し、保全対象として人家172戸、総合会館(避難場所)、県道修善寺戸田線(第2次緊急輸送路)を含む土石流危険渓流である。 渓岸浸食により渓床には不安定土砂が厚く堆積しており、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止したい。 (2)事業内容 砂防堰堤工 1 基																																								
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が多く発生しており、伊豆市においても令和3年度からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待は大きい。 ・被害想定区域を含む地区住民にアンケートを実施したところ、回答者88名の内、80名が「事業を継続する必要がある」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望も強い。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和 7 年度時点) <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>87.6</td><td>146.4</td><td>195.7</td><td>44.7%</td></tr></table> ・総便益(B) 146.8億円 (平均便益:8.7億円) ・総費用(C) 1.7億円 (建設費:1.52億円、維持管理費:0.5億円、用地残存価値:0.04億円) ○見込まれる効果(定性的な効果) ・土石流による甚大な被害の防止 (3)事業の進捗状況 (令和 7 年度見込み) <table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>進捗率</td><td colspan="2">内 訳</td></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>18.3%</td><td colspan="2">(36 百万円 / 197 百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>本堤</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m / 7 m)</td></tr><tr><td>流路工</td><td>0.0%</td><td colspan="2">(0 m / 80 m)</td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>26.3%</td><td colspan="2">(1,000 m² / 3,800 m²)</td></tr></table> <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	87.6	146.4	195.7	44.7%	区 分		進捗率	内 訳		事業費		18.3%	(36 百万円 / 197 百万円)		事業量	本堤	0.0%	(0 m / 7 m)		流路工	0.0%	(0 m / 80 m)		用地取得		26.3%	(1,000 m ² / 3,800 m ²)		評価	継続が妥当
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																						
87.6	146.4	195.7	44.7%																																						
区 分		進捗率	内 訳																																						
事業費		18.3%	(36 百万円 / 197 百万円)																																						
事業量	本堤	0.0%	(0 m / 7 m)																																						
	流路工	0.0%	(0 m / 80 m)																																						
用地取得		26.3%	(1,000 m ² / 3,800 m ²)																																						
評価	継続が妥当																																								
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 本年度に境界確定完了の予定であり、その後用地買収に着手していく。 地元住民からの期待も大きいことから、事業を計画的に推進し、令和11年度完了を目指す。 <table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																																
評価	継続が妥当																																								
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 コスト削減対策としては、残存型枠を採用可能な堰堤本体工等の構造物に対して採用することや、活用可能な建設発生土の現場内での有効活用や他工事への流用、新技術・新工法の活用を検討するなどコスト削減と工期短縮を図っていく。																																								
対応方針(案)	(1)対応方針(案) 本事業を 【 継続 】 する。 (2)理由 本事業は、土石流による被害を未然に防止するものである。 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和3年度からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。																																								

費用便益比算出説明書

「半經寺沢A」土石流

(「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部)

総括表

総便益 B	[事業を実施しない場合の被害額]－[事業を実施した場合の被害額]	14,684百万円
総費用 C	[建設費]＋[評価期間内に必要な維持管理費]	168百万円
B／C		87.62

総便益

[土石流対策事業を実施しない場合の被害額]－[土石流対策事業を実施した場合の被害額]
年平均被害軽減期待額を評価対象期間59年(整備期間9年＋耐用期間50年)について累計する。
ただし、年平均被害軽減期待額は算出基準年(令和7年)に基づく社会的割引率(4.0%)で現在価値化したものとする。

総便益

$$B = \Sigma \text{年平均被害軽減期待額} / (1 + 0.04) \\ = 14,684 \text{百万円}$$

※ 年平均被害軽減期待額: がけ崩れ発生の生起確率(1/10年超過確率降雨及び1/50年超過確率降雨)それぞれに対応した被害軽減額の平均値の合計。

※ 人的被害額/1人当たりは、1/50年超過確率降雨のみで発生し、市町の人口比率を反映した各年齢別人的被害額の平均額である。その平均額を被害想定区域内の死者数を想定し乗じて人的被害額を算定する。

※ 整備期間中の被害軽減額は、事業費に比例して発生するものとする。

総費用

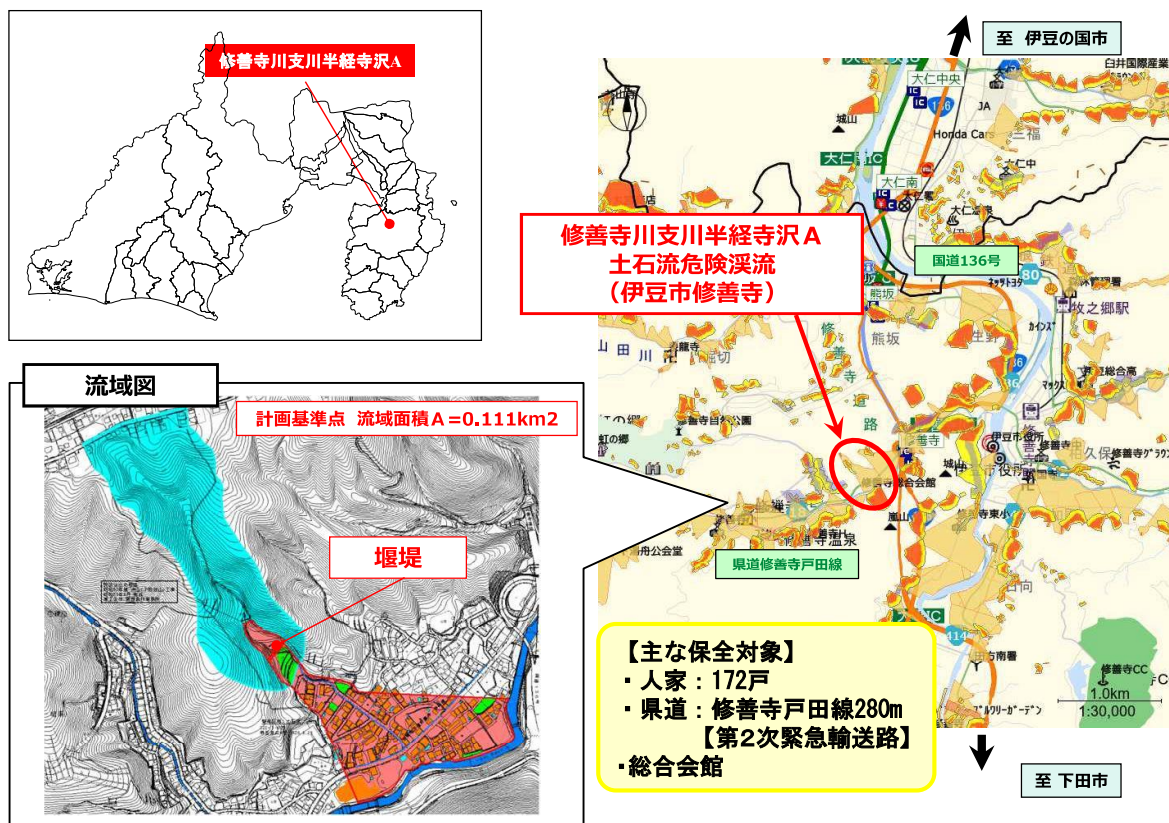
[事業建設費]＋[評価期間内に必要な維持管理費]
各年次の建設費と維持管理費(過去5ヶ年の平均値)を評価対象期間59年(整備期間9年＋耐用期間50年)について累計する。

ただし、各年次の建設費及び維持管理費は、算出基準年(令和7年)に基づくデフレータ及び社会的割引率(4.0%)で現在価値化したものとする。

総費用

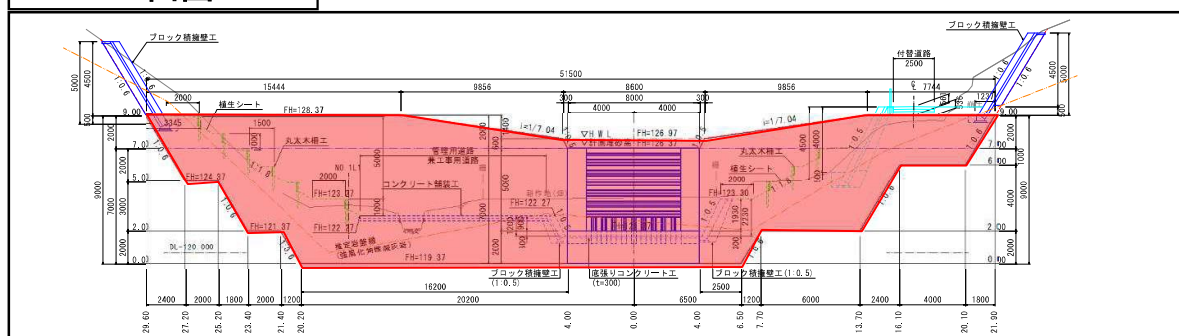
$$C = \Sigma \text{年間建設費} / (1 + 0.04) + \Sigma \text{年間維持管理費} / (1 + 0.04) \\ = 153 \text{百万円} + 15 \text{百万円} \\ = 168 \text{百万円}$$

1. 位置図



2. 事業概要

正面図



事業目的

伊豆市修善寺地区は静岡県の伊豆半島に位置し、保全対象として人家172戸、県道修善寺戸田線(第2次緊急輸送路)を含む土石流危険渓流である。半經寺沢A上流は、渓床に不安定土砂が厚く堆積、土石流による甚大な被害が懸念される。このため、砂防堰堤を整備し、土砂災害を未然に防止する。

事業内容

- ・ 渓流名：半經寺沢A
- ・ 計画期間：R3～R11
- ・ 事業費：C=197百万円
- ・ 事業量：砂防堰堤工 1基
堰堤(透過型)高さ7.0m、堤長51.5m
計画捕捉量3,332m³

荒廃状況



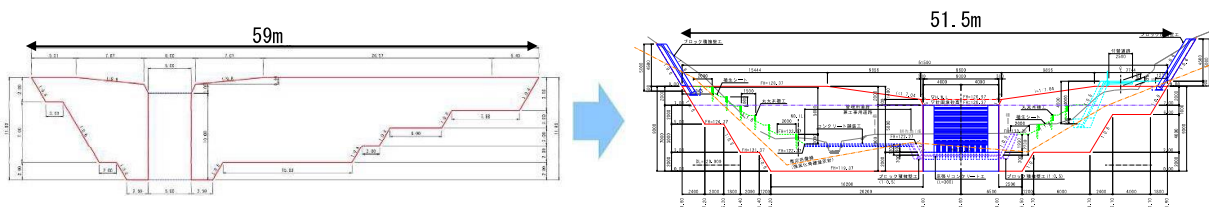
周辺状況



3. 半經寺沢 A の事業概要

前回からの変更点・理由

	前回 (R3)	今回 (R7)	主な変更理由
①計画期間	R3～R9	R3～R11 (+ 2 年)	・地権者との用地境界確定に不測の日時を要したため
②全体事業費	217百万円	197百万円 (-20)	・現地詳細測量を行ったところ、堰堤規模が小さくなったため



4. 事業の投資効果

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益 (B)

総便益 146.84億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害（逸失利益）
- ☐ 間接被害
 - ・営業停止、交通途絶、人的被害（精神障害）

総費用 (C)

総費用 1.68億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):87.6 経済的内部収益率(EIRR):44.7%

前回の費用対効果(B/C):49.9

事業期間は延伸したが、事業費の低減及び「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたためB/Cが上がった

5. 今後の事業の進捗の見込み

本年度に境界確定完了の予定であり、その後用地買収に着手していく。

●事業推進のための取組

地元への事業に関するチラシ配布を行い、事業への理解を得ることで事業の進捗を図ると共に、土砂災害の危険性や避難の重要性も周知している。

静岡県からのお願い
～半經寺地区の砂防事業～

県では、伊豆市半經寺地区の2深流（半經寺沢）において、土石流から人命を守るため、砂防ダム等の建設を行います。
10月4日（火）には、計画地付近にお住まいの皆様を対象に、説明会を開催しました。ご多忙のところ、ご出席された皆様には感謝申し上げます。

① 工事にご協力を
東側深流では、今年度から暫くの間、工事による交通規制を行います。
この工事に伴い、道路の一部通行止めを行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

② 立会にご協力を
西側深流では、砂防ダムを通るために必要な土地を買収いただくため、地権者の皆様にはご協力をお願いします。

③ 大雨・地震時は早めの避難
砂防ダムが完成しても土砂災害の危険性はなくなりません。
近年の異常気象により、想定を超える災害が発生する恐れもあるため、災害情報中の防災情報に注意し、命を守る早めの行動をお願いします。

静岡県沼津土木事務所修善寺支所